

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) Kansei/Affective Engineering	共著	2010年9月	CRC Press	<p>著書全体の概要:感性工学の最新の内容を海外の研究者と共に英語であらわした。 (総ページ数:334頁) (著書全体の著者名 Mitsuo Nagamachi, Shigekazu Ishihara, Keiko Ishihara, Yukihiro Matsubara, Tatsuo Nishino, Anitawati Mohd Lokman, Cathy Barnes, Tom Childs, Stephen Lillford, Ebru Ayas, Jörgen Eklund, Ricardo Hitata Okamoto) 担当部分の概要:3章, Psychological Methods of Kansei Engineering, pp.31-38, および 5章, Statistical Analysis for Kansei / Affective Engineering, pp.51-142</p>
2 (学術論文) Morphometrics と感性工学への応用 《単著》	単著	2008年12月	感性工学, Vol.8, No.1, 17-23, 日本感性工学会	<p>論文全体の概要:感性工学における, かたちの分析への Morphometrics の応用について, 方法論を解説し, いままでの研究をまとめた。 (当該論文のページ数:7頁) (当該論文の著者名:石原茂和) (単著)</p>
3 (学術論文) Development of a washer-dryer with Kansei Ergonomics 《筆頭論文》	共著	2010年9月	Engineering Letters, Volume 18, Issue 3, International Association of Engineers, pp.243-249.	<p>論文全体の概要:全自動洗濯乾燥機の複雑な設定を行う操作パネルを階層的タスク分析法および手数、時間、主観評価を用いて改善し, ドラム底の洗濯物を取り出す姿勢についてモーションキャプチャーと人体力学モデルによる腰椎負荷推定から分析して改善した。 (当該論文のページ数:7頁) (当該論文の著者名:Shigekazu Ishihara, Keiko Ishihara, Ryo Nakagawa, Mitsuo Nagamachi, Hirofumi Sako, Yoshihisa Fujiwara, Masahiro Nait) 担当部分の概要:研究全体の計画実行, 人体負荷計測実験, 分析 (担当ページ:担当頁特定不可能)</p>
4 (学術論文) The graphical analysis method for non-linear relation between Kansei evaluation and design elements 《筆頭論文》	共著	2008年6月	Ergonomia, Vol.29, No.2, 191-201	<p>数量化理論3類モデルの, Correspondence Analysis の計算方法による解法,ならびにローカル回帰によるスムージングによる3次元のデザイン要素と感性評価のビジュアライゼーションを行なう(当該論文のページ数:10頁) (当該論文の著者名:石原茂和,石原恵子,長町三生) 担当部分:研究の大部分を行なった。 (担当ページ:担当頁特定不可能)</p>
5 (学術論文) 形態測定学による車体形状分析のための相同領域分割に基づいた標識点作成法	共著	2010年3月	電子情報通信学会論文誌 A, Vol.J93-A, No.3, 190-203	<p>Morphometrics で用いる標識点の自動生成方法を新たに考案し, 従来の方法と比較してその優位性を示した。(当該論文のページ数:13頁) (当該論文の著者名:宮崎龍二, 石原茂和, 原田耕一) 担当部分:新たに考案した方法が, 従来の方法よりも優れることを示すための統計学的検証方法を考案。(担当ページ:担当頁特定不可能)</p>